あんどんの灯が紡いだ半世紀

～沼田町夜高あんどん祭り50年のあゆみ～

昭和５２年に富山県小矢部市から伝承され、今年で第５０回という偉大な節目を迎えた今、あんどんの光とともに駆け抜けた半世紀の軌跡を全２回、懐かしい写真や出来事とともに振り返ります。２号に渡ってお届けする今回は、第26回～第50回開催の夜高あんどん祭りを振り返ります。

年	回数	あんどんの出来事	沼田町の出来事
平成14年（2002年）	第26回	・２５周年記念写真集発行 ・八雲町で北海道あんどんサミット開催（夜高太鼓が参加） ・札幌ドームで開催された「もっと北海道フェア『祭りスペシャル』」に参加（商工会と役場あんどん） ・お祭りの来場者が２日間で６万人	・生涯学習総合センターがオープン ・雨竜川総合運動公園パークゴルフ場がオープン ・「輝け雪のまち宣言」議決・セレモニー・ほたるの里自然環境フォーラム開催
平成15年（2003年）	第27回	・第７回ふるさとイベント大賞「祭り部門賞」受賞 ・ふるさとイベント大賞受賞記念特別前夜祭が開催 ・お祭りの来場者が２日間で６万５千人	・北いぶき農業協同組合発足（沼田町・秩父別町・妹背牛町 ３農協合併） ・輝け雪のまちフェスタ開催 ・深川留萌自動車道（秩父別ICから沼田IC）が開通
平成16年（2004年）	第28回	・あんどんキティグッズ３種類作成 ・あんどん祭りの開催日を８月第４金・土曜日に変更 ・沼田町開基110年特別前夜祭開催 ・商工会あんどんの心木が折れる ・お祭りの来場者が２日間で５万５千人	・沼田町開基110年記念式典開催 ・養護老人ホーム和風園改築オープン
平成17年（2005年）	第29回	・初日は大雨の影響で１時間早く終了 ・お祭りの来場者が２日間で４万８千人	・冬季イベント「冬のほたる」開催 ・深川留萌自動車道（沼田ICから北竜ひまわりIC）が開通 ・幌新いこいの森講演キャンプサイト・パークゴルフ場オープン ・「雪中米」台湾初出荷
平成18年（2006年）	第30回	・あんどん祭り３０回記念事業を開催 ・小矢部市津沢夜高行燈保存会（清水地区）があんどん山車を沼田町に運び込み、祭りに参加 ・北海道三大あんどんサミットの開催、三大あんどん夢の競演 ・商工会あんどんの心木が折れる ・商工会と役場あんどんが札幌でドームで開催された「日本のまつり」に参加 ・お祭りの来場者が２日間で９万７千人	・テレビ朝日創立５０周年記念ドラマ「氷点」沼田ロケ ・「北海道沼田フェア」が台湾で開催 ・沼田町まちづくり基本条例制定
平成19年（2007年）	第31回	・お祭りの来場者が２日間で７万１千人	
平成20年（2008年）	第32回	・お祭りの来場者が２日間で６万８千人	・沼田式雪山センターの共用開始 ・年越しイベントの様子がNHK「ゆく年くる年」で放送
平成21年（2009年）	第33回	・ねんりんピック北海道・札幌2009総合開会式でぶつけあいを行なう（札幌ドーム） ・お祭りの来場者が２日間で６万５千人	町民会館が改修
平成22年（2010年）	第34回	・特別前夜祭が名称変更し前夜祭になる。 ・お祭りの来場者が２日間で８万３千人	・JR石狩沼田駅において日本で最も早い天然雪での雪祭り「雪夏祭」が開催 ・町指定文化財のクラウス１５号蒸気機関車がJR北海道より「準鉄道記念物」に指定

年	回数	あんどんの出来事	沼田町の出来事
平成 23 年 (2011 年)	第 35 回	・あんどんオフィシャルショップを開設 ・あんどんプレミアムコインを販売 ・札幌ドームで開催された、日本ハム「北海道まつり」に御祝儀車と釣りあんどんを展示 ・お祭りの来場者が２日間で５万８千人	
平成 24 年 (2012 年)	第 36 回	・地域発信型映画「ユキモノガタリ」の上映会を２５日に開催。出演者のお笑いコンビ・ペナルティのワッキーや沼田町出身のお笑いコンビも参加 ・お祭りの来場者が２日間で６万人	・沖縄国際映画祭出品作品「ユキモノガタリ」のロケを沼田町で撮影。7月に上映会を町民会館で実施 ・沼田小学校新校舎完成
平成 25 年 (2013 年)	第 37 回	・１日目ゲリラ的な雷雨により出発時間を遅らせて練行。保育園・幼稚園あんどんが練行を中止 ・１０年ぶりに夜高あんどん師に２名が認定 ・お祭りの来場者が２日間で３万９千人	・沼田町宿泊交流センター「夢未来」がオープン ・沼田町で初めて「B&G 北海道ブロック」の水泳大会が開催
平成 26 年 (2014 年)	第 38 回	・沼田町開拓１２０年記念前夜祭が開催 ・お祭りの来場者が２日間で４万９千人	・沼田町開拓１２０年 ・幻の沼田黒毛和牛を販売
平成 27 年 (2015 年)	第 39 回	・オフィシャルショップで幻の黒毛和牛まんが人気 ・お祭りの来場者が２日間で５万８千人	・小中学校で合同運動会が開催 ・沼田分屯地が創立２５年 ・沼田幼稚園が閉園
平成 28 年 (2016 年)	第 40 回	・NHK 大河ドラマ「真田丸」が縁で俳優の草刈正雄さんと中島亜里沙さんがお祭りに登場 ・お祭りの来場者が２日間で５万４千人	・沼田認定こども園開園 ・「沼田クリニック」が「町立沼田厚生クリニック」としてスタート
平成 29 年 (2017 年)	第 41 回	・お祭りの来場者が２日間で５万１千人	・まちなかほっとタウンがオープン ・暮らしの安心センターオープン
平成 30 年 (2018 年)	第 42 回	・両日とも悪天候のため時間短縮での開催 ・お祭りの来場者が２日間で２万９千人	・地酒「雪なごり」の原材料を酒造適合米「彗星」とし、「雪なごり～瑞華～」にリニューアルして販売
令和元年 (2019 年)	第 43 回	・前夜祭が初めて「まちなかほっとタウン」で開催 ・お祭りの来場者が２日間で３万３千人	・子育て交流広場「えがお」がオープン ・新型コロナウイルスが世界的大流行
令和２年 (2020 年)	第 44 回 （中止）	・新型コロナウイルスの影響を受け、中止 ・「夜高あんどん花火大会」を開催 ・小中学校で「はね踊り」「夜高節」「夜高太鼓」などを保護者に対し披露	・JR 留萌本線開業１１０年
令和３年 (2021 年)	第 45 回 （中止）	・規模を縮小して開催する予定だったが、緊急事態宣言の発令により中止 ・認定こども園、小中学校で「はね踊り」「夜高節」「夜高太鼓」などを保護者に対し披露 ・夜高あんどん祭り公式サイトを開設	・「田舎暮らしの本（宝島社発行）」において３年連続で住みたい田舎ランキング北海道エリア１位を獲得 ・ゼロカーボンシティ宣言
令和４年 (2022 年)	第 46 回	・新型コロナ感染予防対策を行ない、開催 ・YouTube LIVE にてライブ中継を実施 ・お祭りの来場者が２日間で６万３千人	・輝け雪のまち宣言２０周年 ・JR 留萌本線の廃止が沿線市町の合意により決定 ・ASHIMOI KANKO 高穂スキー場リニューアルオープン
令和５年 (2023 年)	第 47 回	・YouTube LIVE にてライブ中継を実施。実況・解説付きで祭りの様子を発信 ・お祭りの来場者が２日間で６万５千人	・「田舎暮らしの本（宝島社発行）」の住みたい田舎ランキング「1 万人未満のまち」で全部門１位 ・3/31 留萌本線の一部（石狩沼田 - 留萌間）が廃線 ・幌新地区に「そらち自然学校」が開校
令和６年 (2024 年)	第 48 回	・8/31 夜高会館で火災が発生。役場あんどん連の山車が全焼、農協あんどん連の山車が半焼。 ・お祭りの来場者が２日間で５万５千人	・沼田町開拓１３０年 ・台湾東部の花蓮県瑞穂郷と友好交流協定を締結
令和７年 (2025 年)	第 49 回	・昨年の火災で被害のあった役場あんどん連、農協あんどん連が装いも新たに復活 ・お祭りの来場者が２日間で６万９千人	・石狩沼田駅名改称１００年 ・「トナリエ北広島」に「沼田町 BEER KITCHEN」がオープン ・公設民営クラフトビール醸造所「石狩沼田ブルワリー」が開業
令和８年 (2026 年)	第 50 回	・ファイターズ平日デイゲームに協賛し、全道に記念ＴＶＣＭを放映 ・「八雲山車行列」、北海道富山県人会連合会恵庭富山県人会「越中おわら風の盆」踊りの会が参加 ・お祭りの来場者が２日間で８万８千人	・3/31 留萌本線（石狩沼田 - 深川間）が廃線 ・「雪中米」誕生から３０年

写真で振り返る夜高あんどん祭り



▲第２７回夜高あんどん祭り（平成１５年）



▲北海道三大あんどんサミットの様子（平成１８年）



▲第３１回夜高あんどん祭り（平成１９年）



▲ねんりんピック北海道でのぶつけあい（平成２１年）



▲第３５回夜高あんどん祭り（平成２３年）



▲第３６回夜高あんどん祭り（平成２４年）



▲第４０回夜高あんどん祭り（平成２８年）



▲第４２回夜高あんどん祭り（平成３０年）



▲第４４回夜高あんどん祭り（令和２年）



▲第４６回夜高あんどん祭り（令和４年）



▲第４７回夜高あんどん祭り（令和５年）



▲第４８回夜高あんどん祭り（令和６年）